校長室雑記

笑ってごらん

第 575 号　H.29.2.14 発行

～今日のことば～
日常生活の中で「いやぁ、素敵な時間だね」と言えるような時間を増やしていく。それが幸せの第一歩。
（作家・聡明舎代表　喜多川泰）

◇◆10 日（金）今冬一番の大寒波襲来。早朝より各路線担当のスクールバス運転技術員から道路状況の報告が寄せられた。加世田付近は時折アラレは降るものの、道路に積もったり凍結したりの様子は無かった。しかし、各峠や山間部では積雪・凍結の状態にあるとのことで、「通行危険」と判断し「休校」とした。一日中気温も上がらず、アラレやミゾレが断続的に降り続く状態にあり、道路状況は不安定なままであった（結局、翌 11 日にかけて悪化した）。11 日（土）鹿児島市内へ出向く用事があったのだが、峠が「通行止め」や「チェーン規制」であったので、伊集院経由で行った。夕方帰る際はチェーン規制が解除されている峠を通行したが、道路脇にはかなりの積雪があり、「ずいぶん場所によって違いがあるものだな･･･」と思った次第。　◇◆12 日（日）は看護学科入学説明会を行った。入学に当たっての心構えや準備するものの案内などの話に加え、病院奨学金についての説明会も実施。ご両親や祖父母まで出席されている家庭もあった（十分な座席を準備してあったのだが、結局足りなくなり、最後尾に追加した）。我が子や孫の進学に際するご家族の熱心さの表れと心得る。説明会終了後は体育館で制服採寸。皆キラキラした眼差しでそれぞれの作業に取り組んでいた様子が印象的だった。次に会うのは入学式前日。それまで宿題である問題集にしっかり取り組んで中学校の学習の総括をしておいて欲しい。　◇◆雪の舞う中、スポーツの大会も行われた。弓道は県遠的大会。日頃の練習とは異なり、グラウンドを使っての練習を重ねてきた選手達。結果は 6 位らしいが、課題も見つかったことと思う。次回こそは･･･、と期待。テニスは男女とも県高校樋口杯に臨んだ。途中、降雪のため急遽会場を変更しなければならないアクシデントに見舞われ、先生方は大わらわであった。そんな中、本校選手諸君は優勝・準優勝を含む好結果を挙げた。嬉しい限りである。詳しい結果についてはブログ等で紹介できると思うので、参照して欲しい。寒い中、お疲れ様！　女子剣道九州選抜大会は文字通りしのぎを削る戦いが展開され、予選リーグを勝ち上がることは出来なかった。残念。

～・～・～・